

職員における新型コロナウイルス陽性者の報告について(第2報)

令和4年1月23日(日)、介護老人保健施設サンビレッジの入所部門の職員1名について、新型コロナウイルスのPCR検査にて陽性であったとの連絡があり、保健所とも連携しながら対応させていただいておりました。

当該職員が勤務しているフロアに入所中の方全員、及び平素より当該フロアに立ち入ることのある当法人職員全員のPCR検査を行い、全て陰性であることを確認しました。また、10日間の健康観察期間において入所者2名の短時間の発熱がありましたが、いずれも基礎疾患等で他の疾患による発熱があり得る方であり、念のため発熱後に行ったPCR検査でも陰性を確認しております(これらの方も、半日程度で解熱され、以後は普段と同様です)。その他は、発熱や体調変化のある入所者の方はおられず、職員も発熱や体調変化はありません。

昨日夕に、前記の発熱者の追加のPCR検査結果が陰性であったことが確認でき、これをもって本日、保健所にもご相談申し上げ、当施設入所部門の対応は終了となりました。

日頃より、ご利用者、ご家族の皆様にも多大なるご協力をいただき、職員一同、感染防止対策に最大限の注意を行っておりましたが、この度は、ご利用者の皆様及びご家族の皆様、また、関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ございません。

依然として全国でオミクロン株の感染が急速に拡大し続けており、感染拡大がピークに達するのは早くとも1~2週間後ではないかと考えております。見かけ上、感染者数増加が鈍ってきている地域もありますが、PCR検査の陽性率が上昇を続けている場合は、検査が追い付いていないだけで実勢を反映していない可能性が高いと懸念されます。また、報道でご存知かと思いますが、「BA.2」という派生型が流行すると、さらに感染拡大が長期化することも懸念されており、今後とも注意を要します(「ステルス」という呼び方もありますが、欧米の特定の検査法で検出できないだけで、日本のPCR検査では検出できます)。

昨日、当施設の通所部門のご利用者1名で新型コロナウイルス陽性が判明しましたが、勤務する職員は原則分離しており、本件とは無関係と考えております。しかしながら、今後ともあらゆる可能性を否定せず、監視や検査を進めていきます。また、職員の同居家族の関係先(特に学校やこども園等)での陽性者報告が多発しております。詳細な情報を可能な限り収集して、「より安全」な職員が誰かを検討する等、リスク低減のための努力を続けていきます。

引続き、可能な限りの対応をさせていただきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和4年2月2日
社会福祉法人 東光会
介護老人保健施設サンビレッジ
施設長 小林 芳人